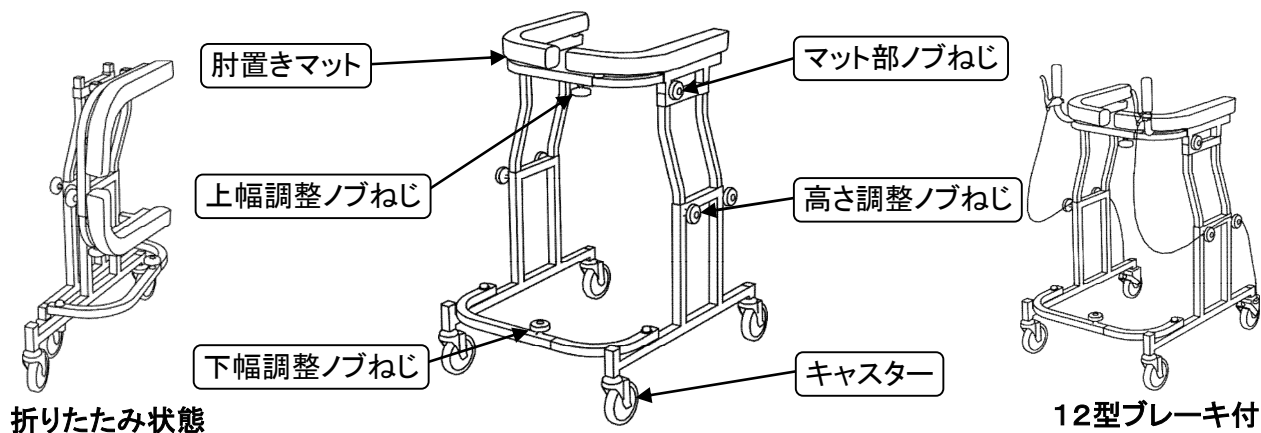


# アルコー12型・12型ブレーキ付 歩行補助器 取扱説明書

このたびはアルコー歩行補助器をお買い上げいただきありがとうございます。  
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

## 仕様



折りたたみ状態

12型ブレーキ付

寸法: 幅545~665(本体)・365~485(マット内)ピッチ40mm×奥行645×マット高さ880~1080mm  
重量: 12kg/13kg(ブレーキ付) 材質: スチール製メラミン焼付塗装(一部ステンレス製)  
キャスター: φ100四輪自在/φ100前輪自在・後輪固定(ブレーキ付) ウレタンレザー製マット

## 安全上のご注意

⚠ 警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
❗	必ずしていただく「強制」内容を説明しています。
🚫	してはいけない「禁止」内容を説明しています。

警告	
❗	● 使用前に必ず医療機関、介護支援専門員(ケアマネージャー)、福祉用具専門相談員などに相談して下さい。
	● 使用前に各部のねじ類、ノブねじが緩んでいないかを確認して下さい。転倒、故障の原因になります。
	● 危険が予想される場所(階段や床面の開口部付近など)では使用を避けるか、必ず介護の方が付き添い注意して下さい。転落、転倒による重大な事故になる恐れがあります。
	● 肘置きマットの高さを調節し適切な姿勢でご使用下さい。無理な姿勢でのご使用は転倒やけがの原因になります。
🚫	● 認知症の方が使用される際は、必ず介護の方が付き添い注意して下さい。思わぬ行動でけがや事故をされる恐れがあります。
	● この製品は歩行補助器ですので他の用途には使用しないで下さい。
	● この製品は屋内専用ですので屋外では使用しないで下さい。故障、事故の原因になります。
	● むやみに分解、改造はしないで下さい。故障、事故、けがの原因になります。
	● 次のような場所では使用しないで下さい。転倒、事故、けがの原因になります。 ■ エスカレーター ■ 溝や凹凸のある場所 ■ 階段 ■ 坂道 ■ バスや電車の中 ■ 砂や泥のある場所 ■ 水たまり ■ 踏切 ■ 滑りやすい場所 ■ 暗くて周囲が見えない場所 ■ 屋外 ■ その他の危険が予想される場所
	● 次のような方は使用しないで下さい。転倒、事故、けがの原因になります。 ■ 自立歩行ができない方 ■ 体調が良くない方 ■ 幼児や小さなお子様 ■ 体格が合わず適切な姿勢が取れない方 ■ 目が見えない方 ■ この製品を使用中にアレルギー症状が出る方(金属アレルギーなど) ■ てんかんや発作症状のある方
	● 次のような時は使用しないで下さい。転倒し、けがの原因になります。 ■ 飲酒後 ■ 薬物等による酩酊状態 ■ 睡眠薬服用後 ■ 麻酔が効いた状態 ■ その他の感覚や判断力が正常でない時
● 破損や異常を発見した場合は直ちに使用を中止して下さい。そのままで使用すると重大な事故につながる恐れがあります。	

注意	
!	● この製品の最大適応体重は80kgです。
	● 壁や家具などを傷つける恐れがあるような場所では、使用を控えるかクッション材等で保護をしてからご使用下さい。
	● 車輪やブレーキの磨耗、ネジ類の緩み、部品の破損及び動作不良がないかを適時点検して下さい。そのまま使用すると故障や事故の原因になります。
	● 使用の際は必ず完全に開いた状態にして下さい。
	● 使用したり折りたたんだりする際は、可動する部分に手指をはさまないようにして下さい。
⊖	● お手入れは水に濡らした布か、柔らかい布で拭きして下さい。ひどい汚れの場合には、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いて下さい。中性洗剤以外の洗剤を使用すると、変質や変色、傷みの原因になります。
	● 走っての使用、急加速や急停止、急激な回転などはしないで下さい。
	● 肘置マットを製品の仕様以上の高さで使用しないで下さい。
	● 肘置マットの一部や片側だけに荷重がかかった状態で使用しないで下さい。
	● 収納時(折りたたんだ状態)には構造上倒れやすくなりますので、寝ている方や壊れやすい物のそばに置かないで下さい。
	● 落としたり壁にぶつけるなど、乱暴な取扱をしないで下さい。故障や変形の原因になります。
	● 屋外や湿気の多い場所、火の近くや高温になる場所に放置、保管しないで下さい。サビの発生、故障、変形の原因になります。
	● 肘置マット以外の部分を持って使用しないで下さい。
	● 清掃にベンジンやシンナー、アルコール等の溶剤は使用しないで下さい。変質、変色、割れが発生する原因になります。
	● パーキングロックがかかった状態で押さないで下さい。車輪が激しく磨耗したり、転倒する原因になります。

## 保守点検

### 1. 清掃の方法・・・適時行って下さい

- 通常の汚れ 水に濡らした布か、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- ひどい汚れ 薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で拭き、その後水で濡らした布で洗剤分を拭きとって下さい。

### 2. 注油箇所・・・定期的に行って下さい

- キャスター 車輪や旋回部の回転が固いときは、付着した泥やほこり絡みついた異物(髪の毛、糸くず、ひも等)を取り除き、油(マシン油等)を数滴差して下さい。

### 3. 点検項目・・・使用前に確認して下さい

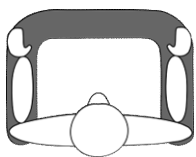
- 直進性 左右均等な力で押しても真っ直ぐ進まない時はフレームの歪みやキャスターの異常が考えられます。
- ねじ類の緩み 緩みがある時は締め直し、部品の脱落や締まらない等の不具合がある場合は、使用を中止して部品交換をして下さい。(Eリング、ピン、ワッシャー、ボルト、ナット、ノブねじ)
- ブレーキの効き 効が悪いときは車輪やブレーキシューの磨耗による調整不足、取り付けねじの緩み、ブレーキワイヤーやレバーの損傷が考えられます。
- 折りたたみ ヒンジ部の不良やフレームの歪みが考えられます。
- キャスターのぶれやガタつき 異物が絡み付いているかキャスター取り付けねじの緩み、車輪の磨耗が考えられます。取り付けねじに緩みがある時はスパナで締め付けてから使用して下さい。
- 異音の発生 部品がこすれている、車輪に異物が付いていたり油切れが発生している等が考えられます。

### 4. その他

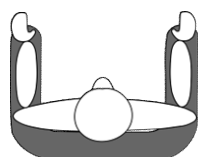
- サビが発生した時 スチールブラシ等でサビを落とした後に油性塗料を塗るなどして下さい。ひどいサビの場合は修理依頼をして下さい。
- 交換推奨部品 ご購入後、キャスターと肘置マットカバーは3年を目安に交換して頂きますと安心して快適にご利用になれます。

## 操作方法

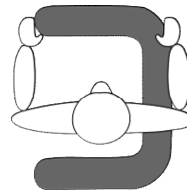
下のイラストを参考に正しい操作位置で肘置マットを持ち操作して下さい。  
※誤った位置で操作されると転倒する恐れがあります。



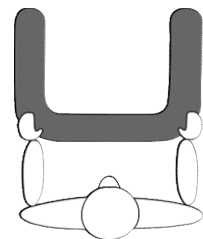
○ 正しい操作位置



× 反対向き



× 横押し

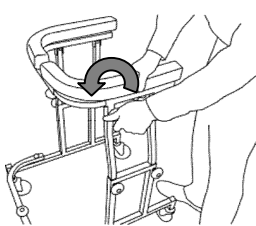


× 前から押し

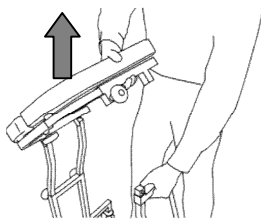
## 使用方法

### 1 折りたたみ方

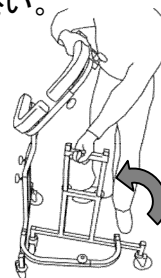
ブレーキ付きの場合、ブレーキワイヤーを破損しないよう注意して下さい。



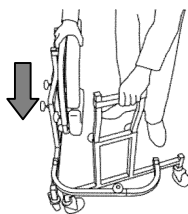
マット部ノブねじをゆるめます



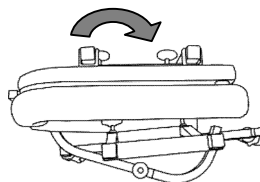
マット部を持ち上げます



左側のフレームを内側にたたみます



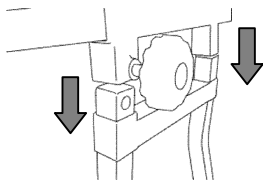
マットをおろします



フレームを内側にたたみます

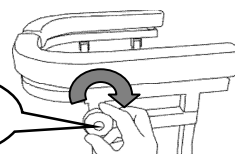
### 2 開き方

折りたたみ方の反対手順でフレームを開き、最後にマット部ノブねじをしっかりと固定してください。



マット部フレームを支柱にさしこみます

必ず穴の有る位置で締める



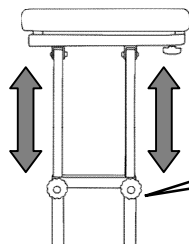
マット部ノブねじを支柱穴の奥までしっかりと締め付けてください

### 3 高さ調整

①高さ調整ノブねじを緩めてマット支柱が動くようにしてください。

②使用に最適な高さへ調整し、ノブねじを締めてください。

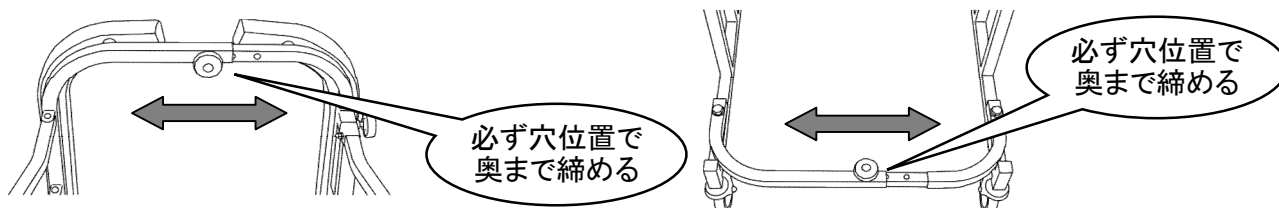
※支柱の高さは必ず4本同じ高さで固定してください。



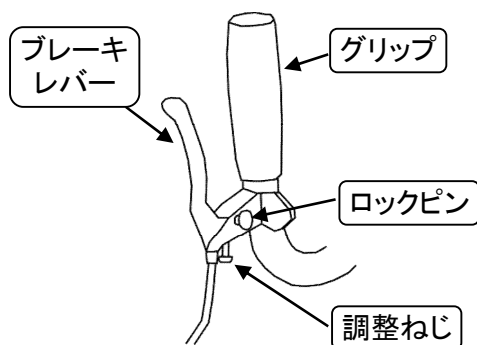
必ず4本同じ高さで締める

## 4 幅調整

- ①上下の幅調整ノブねじを緩めてフレームが動くようにしてください。
  - ②使用に適した穴位置へ幅調整し、ノブねじを締めてください。
- ※上下フレームは必ず同じ幅(穴位置)で固定してください。  
※ノブねじは穴の奥までしっかりと締め付けてください。



## 5 ブレーキの説明(ブレーキ付のみ)



ブレーキレバーを握るとブレーキがかかります。  
グリップとブレーキレバーの握り幅調節は調整ねじで行ってください。

パーキングロックはブレーキレバーを握りながらロックピンを中に押し込みます。  
パーキングロックの解除は、ブレーキレバーを再度握りこむとロックピンが元に戻り、解除されます。

製品に関するご意見・お問い合わせは下記まで

株式会社 **星光医療器製作所**

〒578-0901 東大阪市加納5丁目11-6

TEL(072)870-1912 FAX(072)870-1915

URL <http://www.aruko.co.jp/> E-mail : [seiko@aruko.co.jp](mailto:seiko@aruko.co.jp)

<2012.8 第二版>